

令和5年度全国学力・学習状況調査（小学6年生）の結果をお知らせします

唐津市教育委員会

令和5年4月18日（火）に、全国学力・学習状況調査が実施されました。

このたび、唐津市全体の結果・分析・改善策をまとめましたので、お知らせします。

この調査の目的は、児童の学習状況、課題等を把握するとともに、結果を踏まえて児童への学習指導の改善・充実に役立てるために実施されています。



1. 令和5年度 4月調査 全国、県との比較

小学 6年生	正答率			全国平均 との差	県平均 との差
	全国	佐賀県	唐津市		
国語	67.2	68	66	-1.2	-2
算数	62.5	61	62	-0.5	+1

【正答率から分かること】

正答率で比較すると国語・算数ともに、全国を若干下回ったものの、昨年度よりも差が縮まっています。また、算数は県を上回る結果となっています。

2. 令和4年度 佐賀県学力・学習状況調査（12月調査）と4月調査の経年比較

今年度の小学6年生は、昨年度の12月に佐賀県学力・学習状況調査を受けています。その調査と今年度の調査を基に、同一児童の経年比較を行いました。その結果については、次のとおりです。

【国語】

	令和4年度（12月調査）	令和5年度正答率
唐津市	64.7	66
県（対県比）	65.4(0.99)	68(0.97)

【国語の評価の観点別正答率】

	令和4年度（12月調査）		令和5年度正答率	
	知・技	思・考・表	知・技	思・考・表
唐津市	67.2	63.6	67.7	64.9
県（対県比）	67.9 (0.99)	64.4 (0.99)	69.6 (0.97)	65.9 (0.98)

※「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現

【算数】

	令和4年度（12月調査）	令和5年度正答率
唐津市	50.6	62
県（対県比）	50.1(1.01)	61(1.02)

※（対県比）は、県の正答率を1とした時の唐津市の割合です。

【正答率から分かること】

令和4年度12月調査の5年生が今年度の全国調査の対象児童となっています。令和4年度の調査と5年度の調査の対県比を比較すると、国語では若干下回り、算数では、若干上回る結果となりました。

国語の令和4年度と5年度の調査を観点別に比較してみると、令和4年度は対県比0.99、令和5年度の対県比が0.97となっており、全体の正答率が下回った要因が、知識・技能の観点にあることが分かりました。

3. 児童意識調査の結果表（○…上回っている、—…ほぼ同等である、▼…下回っている）

※ 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合の合計との比較（％）

主な質問事項	全国との比較	県との比較
国語の勉強は好きですか（58.2％）	▼	▼
算数の勉強は好きですか（61.3％）	—	○
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか（79.6％）	▼	▼
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか（82.0％）	○	○
5年生までに受けた授業は、自分にあった考え方、教材、学習時間などになっていましたか（84.2％）	○	—
自分にはよいところがあると思いますか（82.7％）	—	—
人の役に立つ人間になりたいと思いますか（96.8％）	—	—
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか（79.0％）	○	—
将来の夢や目標を持っていますか（81.2％）	—	▼
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか（97.6％）	—	—
普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上勉強をしている（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）と回答した児童の割合（52.4％）	▼	▼
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）（69.8％）	—	—
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか（89.6％）	—	—
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか（95.6％）	○	—

4. 正答率が高い児童に多く見られる傾向

- 同じ時間に寝ている。
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると感じている。
- 先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると感じている。
- 自分と違う意見について考えることが楽しいと感じている。
- 家で自分で計画を立てて勉強をしている。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている。
- 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると考えている。
- 5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていると感じている。

5. 調査結果から考えられる成果や課題と改善策

- 唐津市が取り組んでいる授業改善の成果もあり、5年生までに受けた授業が、自分にあった考え方、教材、学習時間などになっていると感じている児童の割合が増えてきています。今後も継続して、唐津市学力向上研究指定校とも連携しながら、「唐津の学びスタイル」に基づく 全市統一的な学力・授業力向上の取組を推進していきます。
- 学力向上指定校の公開授業において、先生方の優れた取組を紹介し、授業改善の具体について学ぶ研究会を開催します。
- 国語の勉強を好きだと感じている児童の割合は、全国及び県を下回っています。唐津市が取り組んでいる授業改善のテーマ「教師が教えたいことを、児童生徒が学びたいこと」となるよう、単元のゴールを意識した授業改善に取り組めます。
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という問いに対して肯定的に回答した児童の割合が全国よりも高い結果となりました。また、「将来の夢や目標を持っていますか」という問いでは、昨年度は全国、県ともに下回っていましたが、今年度は、全国と同程度となっており、改善が見られています。地域活力を生かした取組やキャリア教育の効果が表れてきていると考えています。今後もより一層、地域と連携した活動やキャリア教育に取り組んでいきます。
- 昨年度より改善が見られるものの、県や国よりも、1日当たりの家庭学習の時間が短いという結果が出ています。学校と家庭の連携をさらに進め、家庭学習をさらに充実させます。

6. 子どもの学力向上のために家庭で協力いただきたいこと

- ・朝のおはようの『あいさつ』で気持ちのいい1日をスタートすることができるようにする。
- ・絵本や本の読み聞かせをしたり、宿題や勉強をするときのノーテレビ・ノーメディアを行ったりして子どもの『学びを支える』。
- ・小さな頑張りを『ほめる』ことを通して、自分に自信がもてるようにする。
- ・子どもの話をじっくり聞きながら『対話する』。

唐津市 幼・保・小 共通取組
子どもたちと「つながる」・子どもたちを「支える」
『あいさつ』『学びを支える』『ほめる』『対話する』

この調査結果は、学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることを踏まえ、唐津市全体の正答率は公表しますが、調査の目的や小規模等の実情等を配慮し、個別の学校の正答率等の数値による結果を公表しないこととしています。

「学校」「家庭」「地域」が一体となって子供たちを育て
いきましょう！

